

2014 年 6 月 17 日

国際インターネット接続サービス「グローバル IP ネットワーク」の タイにおける接続拠点開設について

NTT コミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、国際インターネット接続サービス「グローバル IP ネットワーク」の新たな接続拠点(Point of Presence: PoP)をタイのバンコクに拠点開設し、2014 年 7 月 1 日より提供を開始します。これにより、NTT Com は世界でもインターネット関連ビジネスの成長著しいタイおよび周辺のミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナムを含むメコン地域諸国の関連事業者に向けて、IPv4/IPv6 デュアルスタックの国際インターネットへの接続を提供することが可能となります。

1. 概要

6,700 万人超の人口を抱え、国際インターネットトラフィックの年間成長率が約 70%とインターネットの普及が急激に進んでいるタイにおいて、同国内の ISP^{*1}や ICP^{*2}より、高品質で信頼性の高い IP バックボーンへの直接接続を求める声が高まっていました。NTT Com は、急増するこれら需要に応えるため、世界各国の ISP や ICP と接続している Tier1 「グローバル IP ネットワーク」の接続拠点 PoP をタイのバンコクに開設します。

今回、バンコクに PoP を開設することで、IPv6 対応の Tier1 IP バックボーンへの直接接続を同国・周辺国の ISP や ICP、およびその他インターネット関連事業者などへ提供することができるため、安定かつ低遅延な国際インターネット接続環境が構築でき、コンテンツの配信やアクセスの環境改善が見込まれるとともに、同国の ICT 環境の向上および同国内外におけるインターネット関連ビジネスのさらなる発展が期待されます。また、同国は地理的にメコン地域の中心に位置することから、周辺国を合わせ総人口およそ 3 億人のメコン地域におけるインターネット環境の改善も期待されます。

2. 「グローバル IP ネットワーク」について

NTT Com の「グローバル IP ネットワーク」は、世界で 2 位、アジア地域で 1 位のシェアを誇る^{*3}、グローバルに展開する IP バックボーンで構成された国際インターネット接続サービスです^{*4}。特に太平洋間では業界最大のインターネット容量を保有しています。

今回の拠点開設は 2013 年のインドネシアに続く、東南アジア新興国における国際インターネットサービス展開のさらなる一歩となります。NTT Com は、引き続き新興国への積極的にサービスを展開し、アジア全体のインターネット環境の改善、ICT 化の推進へ貢献していきたいと考えています。

(^{*1}) ISP: Internet Services Provider (インターネットサービスプロバイダ)の略。顧客に対して主にインターネット接続環境を提供する事業者。

(^{*2}) ICP: Internet Content Provider(インターネットコンテンツプロバイダ)の略。顧客に対して主に

インターネット上でさまざまなコンテンツを提供する事業者。

(*3) 米国 Renesys Corporation 社の Internet wholesale ranking による。(2014 年 6 月現在)

(*4) 業界内で数多くの受賞歴もあり、2013 年には Asia Communication Awards「Wholesale Operator of The Year」賞 (<http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/20130624.html>)、Global Carrier Awards「Best Pan-Asian Wholesale Carrier」賞 (http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/20131120_2.html)、Telecom Asia Awards「Best Asian Telecom Carrier」「Best Cloud-Based Service」賞 (<http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/20130418.html>) を受賞しました。